



## 平成30年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月9日  
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社  
 コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151  
 定時株主総会開催予定日 平成30年12月20日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日  
 有価証券報告書提出予定日 平成30年12月21日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年9月期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期	49,751	3.6	5,058	△9.8	5,512	△9.6	4,100	△4.6
29年9月期	48,001	0.9	5,606	8.6	6,101	18.1	4,299	18.2

（注）包括利益 30年9月期 8,599百万円（△3.8%） 29年9月期 8,937百万円（413.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年9月期	96.64	96.43	4.5	4.8	10.2
29年9月期	101.35	101.19	5.1	5.8	11.7

（参考）持分法投資損益 30年9月期 一百万円 29年9月期 一百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期	119,235	94,582	79.2	2,225.19
29年9月期	109,836	87,528	79.6	2,060.94

（参考）自己資本 30年9月期 94,432百万円 29年9月期 87,438百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年9月期	5,894	△3,624	△1,534	17,221
29年9月期	4,860	△9,456	△1,519	16,511

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年9月期	—	16.00	—	19.00	35.00	1,484	34.5	1.8
30年9月期	—	17.00	—	18.00	35.00	1,485	36.2	1.6
31年9月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00		33.9	

### 3. 平成31年9月期の連結業績予想（平成30年10月1日～平成31年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,200	4.9	5,500	8.7	5,900	7.0	4,300	4.9	103.39

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期	42,708,154株	29年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	30年9月期	270,025株	29年9月期	281,719株
③ 期中平均株式数	30年9月期	42,435,512株	29年9月期	42,426,645株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、添付資料19ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年9月期の個別業績（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期	36,907	0.9	3,977	2.8	4,470	2.4	3,247	0.7
29年9月期	36,572	△0.6	3,868	9.6	4,363	18.6	3,225	22.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期	76.54	76.37
29年9月期	76.03	75.91

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
30年9月期	108,291		86,249		79.5		2,028.85	
29年9月期	99,553		79,636		79.9		1,874.91	

(参考) 自己資本 30年9月期 86,100百万円 29年9月期 79,545百万円

2. 平成31年9月期の個別業績予想（平成30年10月1日～平成31年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	3.0	4,150	4.4	4,580	2.5	3,310	1.9	79.58

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

当連結会計年度より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。これに伴いセグメントの業績におけるセグメント利益の前連結会計年度比較においては、遡及適用した前連結会計年度のセグメント利益と比較を行っております。詳細は、添付資料15ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご覧ください。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、米国の通商・金融政策の影響、中国や新興国経済の動向等が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度におきましては、売上高は49,751百万円（前連結会計年度比3.6%増）と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前連結会計年度比0.9%の増収、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前連結会計年度比1.6%の増収（現地通貨ベースでは同1.7%の減収）、T. HASEGAWA U. S. A., INC. が前連結会計年度比12.3%の増収（現地通貨ベースでは同13.2%の増収）、マレーシアのPeresscol Sdn. Bhd. が前連結会計年度比7.3%の減収（現地通貨ベースでは同13.4%の減収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、長谷川香料（上海）有限公司の売上が減少したものの、T. HASEGAWA U. S. A., INC. の売上増加、及び米国のFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの売上が通期（前連結会計年度は3ヵ月間）で寄与したことを主因に前連結会計年度比2.2%増加し、42,186百万円となりました。

フレグランス部門は、当社及び長谷川香料（上海）有限公司の売上が増加したことを主因に前連結会計年度比12.7%増加し、7,565百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上増により売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加を主因に前連結会計年度に比べ547百万円（9.8%）減少し、5,058百万円となりました。経常利益は営業利益の減少並びに為替差損の計上（前連結会計年度は為替差益を計上）を主因に前連結会計年度に比べ588百万円（9.6%）減少し、5,512百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度に比べ199百万円（4.6%）減少し、4,100百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （流動資産）

前連結会計年度に比べ、現金及び預金が1,319百万円、受取手形及び売掛金が248百万円、有価証券が999百万円、商品及び製品が555百万円、原材料及び貯蔵品が1,300百万円それぞれ増加した一方で、その他に含まれる前渡金が845百万円減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度に比べ3,671百万円増加し、52,366百万円となりました。

#### （固定資産）

有形固定資産は、減価償却が進んだことを主因として、前連結会計年度に比べ630百万円減少し、30,615百万円となりました。

無形固定資産は、のれん、顧客関連資産の減価償却が進んだことを主因として、前連結会計年度に比べ、525百万円減少し、7,283百万円となりました。

投資その他の資産は、株価の上昇により投資有価証券が増加したことを主因として、前連結会計年度に比べ6,883百万円増加し、28,970百万円となりました。

#### （流動負債）

前連結会計年度に比べ、賞与引当金が34百万円及びその他に含まれる未払金が659百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が260百万円、未払法人税等が175百万円それぞれ減少しました。これらを主因として、流動負債は前連結会計年度に比べ129百万円増加し、10,664百万円となりました。

#### （固定負債）

前連結会計年度に比べ、株価が上昇したことなどにより、繰延税金負債が2,085百万円増加しました。これを主因として、固定負債は前連結会計年度に比べ2,215百万円増加し、13,988百万円となりました。

## (純資産の部)

前連結会計年度に比べ、利益剰余金が2,479百万円、その他有価証券評価差額金が4,817百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が206百万円減少しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度に比べ7,053百万円増加し、94,582百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ709百万円増加(前連結会計年度は5,802百万円減少)し、17,221百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。なお、当連結会計年度より、PT. HASEGAWA FLAVOURS AND FRAGRANCES INDONESIAを連結の範囲に含めることとしたため、新規連結に伴う現金及び現金同等物が25百万円増加しております。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は5,894百万円(前連結会計年度は4,860百万円増加)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が5,521百万円、減価償却費が2,986百万円であった一方で、法人税等の支払額が1,569百万円、売上債権の増加額が280百万円、たな卸資産の増加額が1,783百万円であったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は3,624百万円(前連結会計年度は9,456百万円減少)となりました。これは主に定期預金の預入が2,088百万円、有形固定資産の取得が1,816百万円であったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,534百万円(前連結会計年度は1,519百万円減少)となりました。これは主に配当金の支払が1,526百万円であったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期	平成30年9月期
自己資本比率	78.2 %	79.2 %	79.6 %	79.2 %
時価ベースの自己資本比率	64.8 %	78.3 %	83.3 %	83.7 %
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.6 %	1.8 %	0.2 %	0.03 %
インタレスト・カバレッジ・レシオ	604.1 倍	662.7 倍	1,147.4 倍	9,281.6 倍

自己資本比率 : 自己資本/総資産  
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
 2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。  
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。  
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の動向が不安定であり、先行きが不透明な状況が続くことが見込まれます。

香料業界におきましても、各社のシェア獲得競争の一層の激化、品質保証に関する要求増加など厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中で、当社グループは、「技術立社」の社是のもと、研究・技術開発力の一層の向上により、特長のある差別化された製品開発を行う一方で、生産性の向上や業務全般の効率化によるコスト削減に努めてまいります。

また、少子高齢化に伴う成熟化が進行する国内市場でのシェア拡大に努める一方で、今後の当社の成長を追求するためには、経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、グローバル展開を更に強化していくことが不可欠です。中国、東南アジアを中心としたアジア地域及び米国において、市場の成長性や消費者の嗜好等を的確に捉え、各地域に合った事業戦略を立案・推進するとともに、将来の成長に向けた基盤強化のための投資や国内外での業務提携等の必要な施策を行い、海外市場での業績拡大を目指してまいります。

通期の連結売上高は52,200百万円（前連結会計年度比4.9%増）、営業利益は5,500百万円（前連結会計年度比8.7%増）、経常利益は5,900百万円（前連結会計年度比7.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,300百万円（前連結会計年度比4.9%増）を予定しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、グループ経営基盤のより一層の強化と今後の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様業績に応じた利益還元を図るため、連結ベースで配当性向35%程度を目途に中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

なお、当社は、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる」旨定款に定めており、剰余金の配当は取締役会を決定機関としております。

当事業年度の年間配当につきましては、1株当たり35円の配当（うち中間配当17円）を実施することを決定いたしました。この結果、当事業年度の連結ベースの配当性向は36.2%となりました。

内部留保資金につきましては、設備投資とグローバル化戦略の展開を図るための有効投資に使用してまいります。

なお、当事業年度に係る剰余金の配当は以下のとおりであります。

決議年月日	配当金の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）
平成30年5月11日取締役会決議	721	17
平成30年11月9日取締役会決議	763	18

次期の年間配当につきましては、1株当たり35円（うち中間配当17円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当連結会計年度 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,802	12,121
受取手形及び売掛金	16,893	17,141
有価証券	5,999	6,999
商品及び製品	6,530	7,086
仕掛品	160	111
原材料及び貯蔵品	6,004	7,304
繰延税金資産	632	626
その他	1,681	980
貸倒引当金	△8	△5
流動資産合計	48,694	52,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,159	38,386
減価償却累計額	△20,205	△21,231
建物及び構築物(純額)	17,953	17,155
機械装置及び運搬具	34,453	35,114
減価償却累計額	△29,715	△30,400
機械装置及び運搬具(純額)	4,737	4,714
工具、器具及び備品	6,561	6,924
減価償却累計額	△5,329	△5,615
工具、器具及び備品(純額)	1,232	1,308
土地	7,064	7,081
建設仮勘定	257	355
有形固定資産合計	31,245	30,615
無形固定資産		
のれん	3,885	3,480
顧客関連資産	3,033	2,901
その他	890	901
無形固定資産合計	7,809	7,283
投資その他の資産		
投資有価証券	21,202	28,071
繰延税金資産	24	25
退職給付に係る資産	18	21
その他	897	900
貸倒引当金	△57	△49
投資その他の資産合計	22,086	28,970
固定資産合計	61,141	66,868
資産合計	109,836	119,235



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当連結会計年度 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,540	5,280
1年内返済予定の長期借入金	4	0
未払法人税等	839	663
賞与引当金	1,264	1,299
役員賞与引当金	67	63
その他	2,818	3,357
流動負債合計	10,534	10,664
固定負債		
長期借入金	4	1
繰延税金負債	4,012	6,097
退職給付に係る負債	6,631	6,826
資産除去債務	70	68
長期未払金	997	914
その他	56	80
固定負債合計	11,772	13,988
負債合計	22,307	24,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,295
利益剰余金	62,438	64,917
自己株式	△323	△309
株主資本合計	74,772	77,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,435	17,253
為替換算調整勘定	468	261
退職給付に係る調整累計額	△237	△350
その他の包括利益累計額合計	12,665	17,164
新株予約権	90	149
純資産合計	87,528	94,582
負債純資産合計	109,836	119,235

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
売上高	48,001	49,751
売上原価	29,245	30,619
売上総利益	18,756	19,132
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	810	910
給料及び手当	5,338	5,711
賞与引当金繰入額	838	864
役員賞与引当金繰入額	67	63
退職給付費用	481	485
福利厚生費	1,182	1,200
減価償却費	840	963
のれん償却額	208	430
その他	3,381	3,442
販売費及び一般管理費合計	13,149	14,073
営業利益	5,606	5,058
営業外収益		
受取利息	33	62
受取配当金	260	304
為替差益	173	—
その他	88	108
営業外収益合計	556	475
営業外費用		
支払利息	3	0
為替差損	—	15
設備賃貸費用	43	—
その他	14	5
営業外費用合計	62	21
経常利益	6,101	5,512
特別利益		
固定資産売却益	75	—
投資有価証券売却益	55	63
特別利益合計	131	63
特別損失		
固定資産廃棄損	95	54
特別損失合計	95	54
税金等調整前当期純利益	6,137	5,521
法人税、住民税及び事業税	1,613	1,395
法人税等調整額	224	24
法人税等合計	1,837	1,420
当期純利益	4,299	4,100
親会社株主に帰属する当期純利益	4,299	4,100

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
当期純利益	4,299	4,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,740	4,817
為替換算調整勘定	1,835	△206
退職給付に係る調整額	61	△112
その他の包括利益合計	4,637	4,498
包括利益	8,937	8,599
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,937	8,599
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成28年10月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,292	59,538	△322	71,873
当期変動額					
連結範囲の変動					
剰余金の配当			△1,400		△1,400
親会社株主に帰属する当期純利益			4,299		4,299
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,899	△0	2,898
当期末残高	5,364	7,292	62,438	△323	74,772

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,695	△1,367	△299	8,028	37	79,939
当期変動額						
連結範囲の変動						
剰余金の配当						△1,400
親会社株主に帰属する当期純利益						4,299
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,740	1,835	61	4,637	52	4,690
当期変動額合計	2,740	1,835	61	4,637	52	7,589
当期末残高	12,435	468	△237	12,665	90	87,528

当連結会計年度(自平成29年10月1日至平成30年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,292	62,438	△323	74,772
当期変動額					
連結範囲の変動			△94		△94
剰余金の配当			△1,527		△1,527
親会社株主に帰属する当期純利益			4,100		4,100
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		3		13	17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3	2,479	13	2,495
当期末残高	5,364	7,295	64,917	△309	77,268

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,435	468	△237	12,665	90	87,528
当期変動額						
連結範囲の変動						△94
剰余金の配当						△1,527
親会社株主に帰属する当期純利益						4,100
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,817	△206	△112	4,498	58	4,557
当期変動額合計	4,817	△206	△112	4,498	58	7,053
当期末残高	17,253	261	△350	17,164	149	94,582

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,137	5,521
減価償却費	2,842	2,986
のれん償却額	208	430
長期未払金の増減額 (△は減少)	△29	△83
株式報酬費用	52	76
賞与引当金の増減額 (△は減少)	125	37
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	130	32
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△15	△3
受取利息及び受取配当金	△294	△366
支払利息	3	0
為替差損益 (△は益)	△80	△1
固定資産廃棄損	95	54
無形固定資産売却損益 (△は益)	△75	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△56	△63
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,114	△280
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△948	△1,783
仕入債務の増減額 (△は減少)	△270	548
未払消費税等の増減額 (△は減少)	112	△47
その他	△620	73
小計	6,213	7,117
利息及び配当金の受取額	292	346
利息の支払額	△4	△0
法人税等の支払額	△1,642	△1,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,860	5,894
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△289	△2,088
定期預金の払戻による収入	33	445
有形固定資産の取得による支出	△3,156	△1,816
有形固定資産の売却による収入	4	14
有形固定資産の除却による支出	△130	△44
無形固定資産の取得による支出	△64	△148
無形固定資産の売却による収入	284	—
投資有価証券の取得による支出	△30	△31
投資有価証券の売却による収入	78	90
短期貸付けによる支出	△25	—
子会社株式の取得による支出	△6,160	△41
資産除去債務の履行による支出	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,456	△3,624

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△118	△7
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△1,399	△1,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,519	△1,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	314	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,802	683
現金及び現金同等物の期首残高	22,313	16,511
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	25
現金及び現金同等物の期末残高	16,511	17,221

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは各種香料を生産・販売しておりますが、中国・マレーシア・米国における生産と販売、そしてインドネシアにおける販売を現地法人が担当し、それ以外の国外と国内については当社が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、当社が作成したグローバル戦略に基づき、各地域における戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした各会社の所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度において、当社の子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLC (所在地 米国 カリフォルニア州)の全株式を取得したため、報告セグメント「米国」に含めております。また、当連結会計年度において、非連結子会社であったPT. HASEGAWA FLAVOURS AND FRAGRANCES INDONESIAを連結の範囲に加えたため、報告セグメント「アジア」に含めております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

なお、当連結会計年度より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、報告セグメントの利益を経常利益から営業利益に変更致しましたので、前連結会計年度のセグメント利益については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,077	7,737	4,186	48,001	—	48,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	506	356	423	1,286	△1,286	—
計	36,583	8,094	4,609	49,288	△1,286	48,001
セグメント利益	3,935	1,296	284	5,516	89	5,606
セグメント資産	99,882	17,185	10,144	127,211	△17,375	109,836
その他の項目						
減価償却費	2,040	519	282	2,842	—	2,842
受取利息	21	32	0	53	△19	33
支払利息	0	8	14	23	△19	3
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,440	986	339	2,766	—	2,766

(注) 1. セグメント利益の調整額89百万円は、内部損益取引に係る調整額64百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額25百万円、その他△0百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△17,375百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△17,303百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△72百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,097	8,045	5,608	49,751	—	49,751
セグメント間の内部売上高又は振替高	810	441	101	1,353	△1,353	—
計	36,907	8,487	5,710	51,105	△1,353	49,751
セグメント利益	4,008	755	259	5,024	34	5,058
セグメント資産	108,698	17,717	10,383	136,798	△17,563	119,235
その他の項目						
減価償却費	2,009	567	410	2,986	—	2,986
受取利息	18	61	0	79	△17	62
支払利息	0	2	12	15	△15	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,697	483	218	2,400	—	2,400

(注) 1. セグメント利益の調整額34百万円は、内部損益取引に係る調整額85百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△66百万円、その他15百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△17,563百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△17,453百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△125百万円、その他15百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	6,713	41,288	48,001

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,372	11,316	3,937	374	48,001

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
21,314	7,768	2,162	—	31,245

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
森永乳業㈱	5,129	日本

当連結会計年度（自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	7,565	42,186	49,751

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,595	11,456	5,235	463	49,751

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
20,960	7,497	2,156	—	30,615

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	135	72	—	208
当期末残高	—	1,023	2,862	—	3,885

当連結会計年度（自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	145	285	—	430
当期末残高	—	906	2,573	—	3,480

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)	
1株当たり純資産額	2,060円94銭	1株当たり純資産額	2,225円19銭
1株当たり当期純利益金額	101円35銭	1株当たり当期純利益金額	96円64銭
潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	101円19銭	潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	96円43銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	4,299	4,100
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(百万円)	4,299	4,100
期中平均株式数(株)	42,426,645	42,435,512
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	65,017	91,918
(うち新株予約権(株))	(65,017)	(91,918)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。